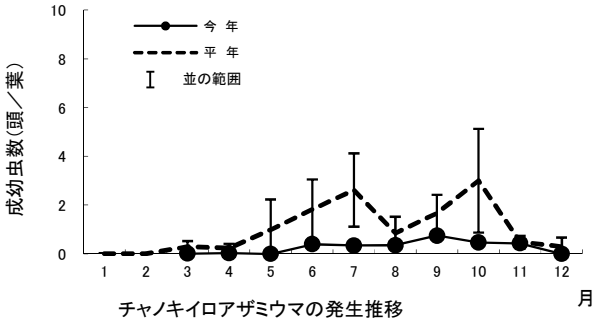
平成　29 年度

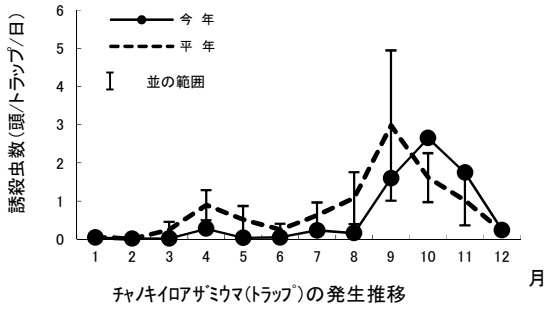
作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
12 月の発生量（現況）	並		
1 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数及びトラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、12月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

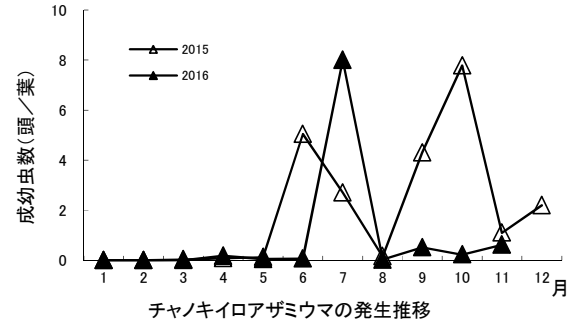
- 12月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数は0頭（前年調査なし、平年0.3頭)と平年並であった。
- 12月の黄色粘着トラップへの日・トラップ当たり誘殺虫数は0.2頭（前年0.2頭、平年0.2頭）と平年並であった。

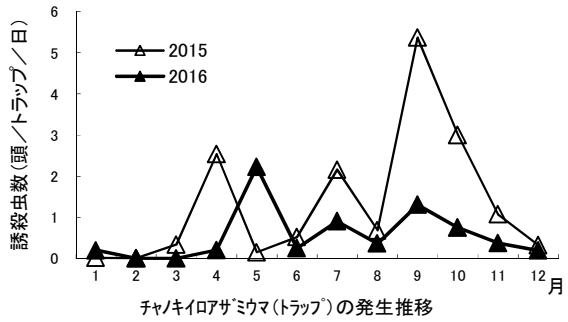
（今年のデータ）





（過去２年のデータ）





防除のポイント

・発生源となる施設内外の雑草を除去する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年7月27日付）コラム参照。

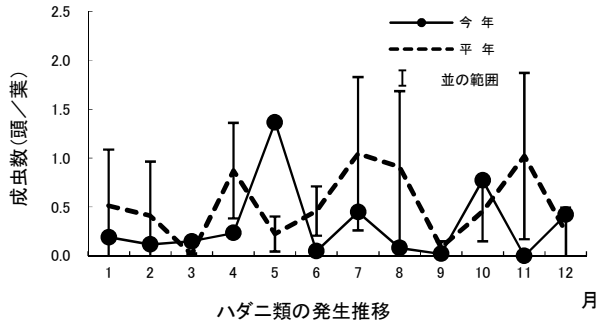
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	② ハダニ類		
12 月の発生量（現況）	並		
1 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、12月と同程度の発生量と考えられる。		

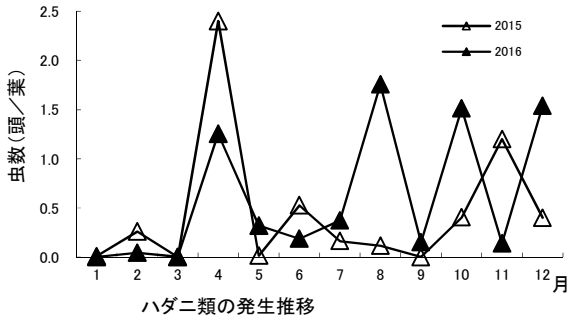
発生量の根拠（調査結果）

- 12月下旬の調査の結果、成葉の葉当たり雌成虫数は0.4頭（前年1.5頭、平年0.2頭)と平年並であった。
- 発生種は、全てシュレイツメハダニであった。

（今年のデータ）



（過去２年のデータ）



防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年度7月27日付）コラム参照。

平成　29 年度

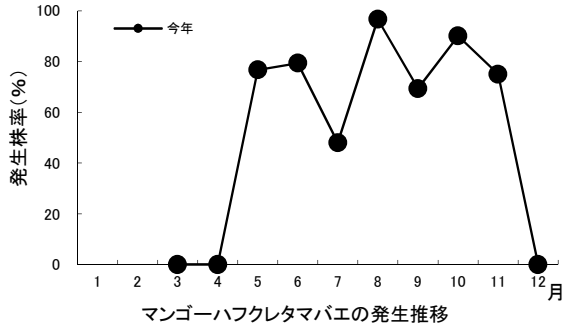
作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ		
12 月の発生量（現況）	判定不可		
1 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	新梢の発生がほぼ終息していることから、12月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

・ 12月下旬の調査の結果、発生株率は0%（前年調査なし)、発生ほ場率は0%（前年調査なし）であった。

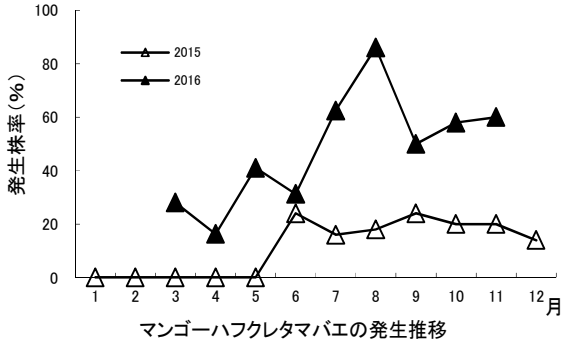
・ データの蓄積不足のため、判定保留。

（今年のデータ）



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

（過去２年のデータ）



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年7月27日付）コラム参照。